

いちよう

2018.1

医療法人医理会
広報分科会

理念
常に医の理を念頭に、
すべての人々に公平に、
深い人間愛に基づき、
高度医療を
二十四時間体制で
行うべく日夜、医師を始め
全職員の人間性、
技量の向上を図り、
誠実で意欲あふれる
医療集団としての
存在を成すことにより
地域社会に貢献する

明けましておめでとうございます

当院は、1951年に開院以来、今年で67年平戸で医療を提供していることとなります。

この所感を第30回日本内視鏡外科学会総会での発表の際に書いていますが1991年に第1回の学会を開催し30回とこのことで、傷の小さな手術である内視鏡外科が始まって以来の様々な展示があり懐かしく感じました。

「地方でも最新の医療を」という理念に乗っ取り、1991年10月から当院でも内視鏡外科手術を行っています。様々な医療機器の開発に伴い、内視鏡外科の治療範囲も年々広がってまいりました。同様のことが他の医療分野でも起こり、それに何とか対応しながら2018年を迎えた。というのが正直な印象です。ともすると以前、医療は患者さんが少々苦しくても病気が治ればよいと医療者のエゴともとれるものでしたが、内視鏡外科が始まる頃より患者さんにやさしい治療というものが重要視されるようになってきました。

学会で30年後の内視鏡外科を想像するというセッションがありましたが私なりに30年後の平戸の医療を想像しました。平戸は現在、超高齢社会を迎えていますが、今後は国全体が超高齢社会になる日本のひな型になるものです。これからは患者さんにやさしいばかりか家族やひいては社会にやさしい医療となるのでは、と考えました。

進歩は何もしないところに突然起こるものではありません。日々の努力からbreak throughが起こるものです。今年も医療法人医理会 職員一同平戸の医療に貢献してまいりますのでよろしくお願いいたします。

目次

年頭所感	 2
特集： 大腿骨頸部骨折について	 3,4
院内報告	
まちゼミ報告	 5
職員紹介（法人内託児所）	 6
防火訓練 他	 7
診療時間のご案内	 8

2018年 医理会テーマ

『和の心、癒す心』



年頭所感

医療法人 医理会 柿添病院 理事長 柿添圭嗣



新年あけましておめでとうございます。

本年も地域医療に専心努力して参る所存ですのでよろしくお願い申し上げます。

ここ数年というものの新年を迎えるにあたり、いつも感じておりますことは当地域における人口減少の重大さであります。我が国全体としても少子高齢化が叫ばれていますが、少子による保育園や小中学校の閉鎖が地方では現実問題であるのに対し、都会では幼稚園の待機児童がいるなど大きな地域間格差が生じています。

高齢化については地域を問わず増加していますが決定的に都市部と地方で違うことがあります。それは地方における労働人口の激減ということです。つまり平戸における医療福祉の問題は「少子、小労働人口、高齢化」を外して考えられないということです。

もとより日本全国において平戸のような地域は農漁業を主とする一次産業で栄えていましたが、それにもまして三世代で育った人情味あふれる勤勉で誠実な働き手の産地であったといえます。昔の平戸は道路も家も今のように立派ではありませんでしたがとにかく町は鼻たれ小僧や猶興館の学生さん、行商のおばちゃん達等で溢れ賑やかでした。

病院も住み込みの看護師さんや見習いさんに事欠くことはありませんでした。然しながら今はその一次産業を支え苦勞されてきた大先輩方を手厚く看護、介護しようとして施設を建てたとしても働き手が絶対的に足りません。テレビのニュースなどでは都会の若者の仕事が無いと言っています。実際は手も汚さず汗もかかず楽に暮らせる仕事が無いのであって、80歳過ぎて畑に出たり海に出たりしている患者さんを診察したりゼネコンの方から大工さんや左官さんが足りなくて工事が遅れますといったことを聞くにつけ矛盾を感じています。

戦後70年の潜伏期をもって今、取り返しのつかない人口貧血による社会崩壊病が発病したことを痛感しています。この難病を治すには先ず原因たる人口貧血を治さなければなりません。然し一度重症貧血に陥っているので急に少子を多子にもっていったとしても保育士や教師不足になると思われます。このような八方塞がりの難病に立ち向かっていくためには少なくとも30年から50年の治療計画が必要です。病気を治して普通の医者、人を治して立派な医者と言われますが更に地域社会の健康の為に全力で貢献していきたいと考えています。

大腿骨頸部骨折について①

整形外科 医師
町田 宏

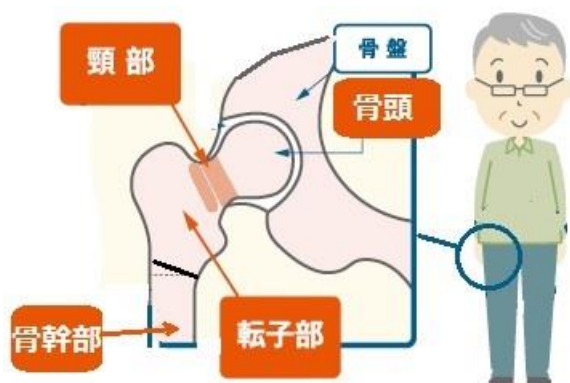
日本整形外科学会会員
日本産婦人科学会会員
へき地離島救急医療研究会会員

当院にて整形外科を担当しています町田宏といいます。
今回は、高齢者に多い大腿骨頸部骨折について、ご説明
したいと思います。

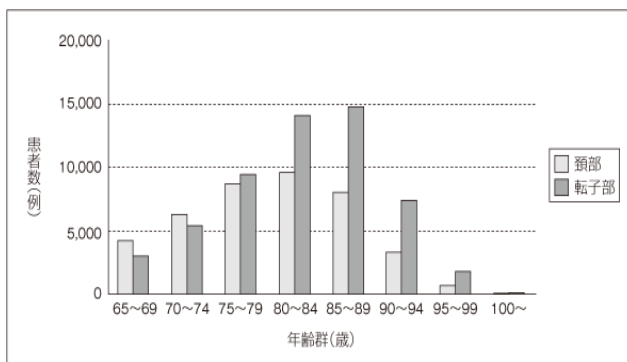
太もも部分の太い骨を大腿骨と言いますが、図のよ
うに、大腿骨は大腿骨頭、頸部、転子部、骨幹部の4
つに分かれます。頸部と転子部を合わせて頸部と言
うこともあります。したがって、ここでは、大腿骨頸部
骨折を、「頸部骨折」+「転子部骨折」としてご説明
していきます。

骨頭はだいたいゴルフボールより一回り大きいくら
いで（直径4～5cm）、球状になっています。ここ
が折れる（割れる?）ことは通常はありません。骨幹
部は、大腿骨のまっすぐな部分で、もともとまっすぐ
に丈夫に作られているため、ここも、かなり強いエネ
ルギーが加わらないと折れることはありません。

大腿骨頸部（以下、転子部骨折を含む）は、骨頭と
同じく、脚のつけねにあります。そして、重い体重を
左右で支えるために、曲がっています。そのために、
あまり強い力が加わらなくても、たとえばちょっとした
転倒でも、簡単に骨折してしまうことがあるのです。
これを大腿骨頸部骨折と言います。



塩川鍼灸整骨院ホームページより改変



日本病院評価機構のホームページより

お年寄りに大腿骨頸部骨折が多い理由

大腿骨頸部骨折は、圧倒的に高齢者に多いのです。図でわかるように、そのピークは80歳代で、当院
でもやはり80歳代の方が一番多いです。男女別では、女性は男性の約4倍弱ほどです。昨年9月に黒
柳徹子さんもこの骨折をして話題になりましたね。黒柳さんは、御年84歳です。

ではなぜ高齢者に大腿骨頸部骨折が多いのでしょうか。だいたい以下のような理由が考えられます。

- ①お年寄りには骨粗鬆症の方が多い
- ②お年よりは転倒しやすい
- ③お年よりは、転倒の際に、防御機制が働きにくい

いずれの理由にしても、高齢になるにしたがって、誰もがこのよ
うな状況にはなり得るために、高齢者はどうしても、ある一定の
確率で、大腿骨頸部骨折が発生することになります。



なぜ手術が必要なのか

大腿骨頸部骨折の治療は、骨折部位のズレがほとんどない場合、全身状態が非常に悪く、手術に耐えられないような場合を除いて、基本的に手術となります。

ここで大事なことは、患者さんの年齢は関係ない、ということです。当院でも、100歳過ぎの方でも手術はしています。むしろ、ご高齢の方ほど手術が必要になります。大腿骨頸部に次いで頻度が高い手関節の骨折の場合、高齢者ではほとんど手術をすることがないのとは対照的です。ではなぜ、高齢者ほど手術が必要になるのでしょうか。これは、頸部骨折と転子部骨折と分けて考える必要があります。

頸部骨折の場合

大腿骨頸部は、もともと血流が悪いために、ここが骨折した場合、骨癒合はほとんど期待できません。もし手術をしないでおくと、骨頭は萎縮し、後々の痛みの原因等になります。無論、歩行はほとんどできなくなります。

そのために、この部分の骨折の場合は、人工骨頭挿入術といって、人工の骨頭に取り替えることが基本となります。（但し、骨折のズレが少ない場合は、ピンで固定することもあります）。つまり、**頸部骨折の場合は、手術はほぼ絶対的に必要**、ということになります。



当院症例より

転子部骨折の場合

転子部は、頸部と異なり、血流が豊富なので、もともと骨癒合はしやすいところです。したがって、よほどズレが大きくない限りは、期間は長くかかりますが（2～3ヶ月程度）、手術なしでも骨折の治療は可能です。

しかしそのために、骨が癒合するまでの期間はずっとベッド臥床を強いられ、リハビリもできません。高齢者の場合、2～3ヶ月もこのような状態になると、認知症、肺炎、褥瘡といったさまざまな問題が出てきます。そのために、転子部骨折の場合は、こうしたことが起こらないように、骨折が治る前からリハビリを行うために、手術を行います。つまり転子部骨折の場合は、手術は絶対に必要なわけではないが、より早く（手術日の翌日）からリハビリをしたり、ベッドから離床するために、手術をするのです。



当院症例より

次回4月号は
【大腿骨頸部骨折の手術後のリハビリと予防について】特集します。





部署紹介

事業所内保育所

イエローハウス



イエローハウスは、「当院スタッフが、安心して仕事に専念できる環境こそ、結果的には患者さんへの最高のケアにつながる。」という院長の考えのもと、福利厚生施設として設置されました。医理会職員のみなさんの協力を得ながら、保護者の方が勤務に専念できるよう、そして子ども達が安心して過ごせるような環境づくりをはじめ、遊びや行事を通して健やかな心と体が育つよう努めています。

スタッフ紹介

かないだ まり
主任保育士：金井田 真理

勤続10年で松浦から通っています。孫達に合うのが楽しみです♡子供達の笑顔を大切に日々頑張っています。



くろさき まさよ
保育士：黒崎 雅代

しおや みちこ
保育士：塩谷 道子

トトロ大好き保育士です！
心も体もトトロに近づけるよう
頑張ってます!?

この歳にして入職2年目の
新人です！高2の娘と夢探しを
頑張ってます★

1年間の主な活動

4月：遠足
5月：春季園児健康診断
7月：七夕まつり
8月：プール遊び
10月：秋季園児健康診断
12月：クリスマス会
院内防火訓練
2月：豆まき大会
3月：おゆうぎ会
卒園式

身体測定・避難訓練は毎月実施

どんぐり、
みつけた◎



お散歩・制作活動なども楽しんでいます！

避難訓練の様子



みんなで食べるとおいしいね♡



上手？

上手！



室内遊びも元気いっぱい♡



僕も遊べるよぉ♪

院内報告



柿添病院も参加しました！

平成29年9月に平戸市木引田町商店街で「平戸まちゼミ」が行われました。商店街の各店舗から様々なジャンルのミニ講座が開催されました。当院も二つのテーマで合計4回（1回は悪天候で中止）の講座をおこなわせて頂きました。その時の模様を紹介します！！



私たちは、「脳トレと筋トレやってみよう」をテーマにして認知機能や運動の方法を学んだ後に実際に皆様で映像を見ながらのクイズで頭の体操をおこない、その後、体を動かして筋力トレーニングを行いました！認知症予防と転倒予防と皆さん真剣に話を聞いていただき、その後の運動でもとても盛り上がりました。

参加していただいた皆様には感謝しております♪

また次回のまちゼミでお会いしましょう！

（リハビリテーション課 村上）

第1回目 『脳トレ・筋トレ やってみよう』

私たちは身近なものでできる応急処置についての講座を行いました。慣れないことに戸惑う場面も多くありましたが、講座を受けに来てくださった方々が優しく受け入れてくださったことで、無事に終わることができました。今回の講座では、実際に実演していただく事で身の回りにあるごく一般的な生活雑貨などを使って応急手当ができる技を習得していただく事が出来たのではないかと思います。

今後このような活動を通じて、市民の方々との信頼関係を築いていこうと思います。

（2病棟看護師 谷原）



第2回目

『自分でできる 応急処置と介助方法』



今年（平成30年）も予定されているようなので興味のある方は是非参加してくださいね

初期消火操法

11月22日、第24回初期消火操法競技大会の屋内消火栓の部に出場してきました。大会では2秒差で惜しくも優勝できませんでしたが、良い経験と勉強をさせて頂きました。

今回、大会に向けた練習の中で、基本動作や消火栓の取り扱いを再確認し、いかに消火までのスピードが大事かという事を学び、実感することができました。火災は、人の手で減災する事が出来ます。適切な初期消火活動を行う事によって被害を最小に抑える事が可能です。

火災を起こさない事が第一ですが、万が一必要になった時は、この経験を初期消火に生かしたいと思っています。大会出場に際し、ご指導頂いた平戸市消防署の方々、当日応援して頂いた皆さん、ありがとうございました。



看護部 井澤智子



防火訓練

12月14日、病院前の医理会ホールの通所リハビリセンター『毎快』の昼間を想定した訓練と、柿添病院の夜間を想定した訓練を行いました。職員一人一人が真剣に平戸消防署の職員の話に耳を傾け充実した訓練になりました。

これからも、防災の意識を高め、患者様・利用者様が安心して治療・療養を受けられるよう頑張っていきたいと思います。

防火管理者 平田一典



私たちと一緒ににはたきませんか？

私たちスタッフは、寄り添う心。笑顔を忘れず。
安心安全な医療を目指しています。

当院では一緒に働く方を募集しています。急性期医療や地域医療に興味ある方は是非ご連絡ください。詳細は下記まで。

柿添病院 人事課 柿添るみ

(代) 0950-23-2151



診療日のご案内

※医師予定については変更等がございますので、
来院される前にご確認願います

【診療時間】 平日：9:00～12:00 14:00～17:00 土曜：9:00～12:00

		月	火	水	木	金	土
外来	外科・内科 柿添圭嗣（木 病棟回診） 柿添博史（水・金 内視鏡） 柿添三郎（月・木 内視鏡）	○	○	○	○	○	○
		午後の診療は行っておりません ※柿添三郎 水曜 午前 肝臓外来					
	外科 九州大学病院 第二外科	○	○	○	○	○	○
	整形外科 町田宏	休	○	○	○	○	休
	小児科 柿添由美子	○	○	○	○	○	○
		午後の診療についてはご連絡ください					
専門外来	歯科 柿添澄子	○	○	○	○	○	不定休
	皮膚科 丸田真澄 9:30～12:00 14:00～15:00	休	○	○	○	休	休
	耳鼻咽喉科 九大耳鼻咽喉科 10:30～12:00 14:00～16:00	○	休	休	休	休	休
	泌尿器科 佐世保共済病院 山田潤	休	休	休	休	○ ※午前のみ	休
	循環器内科 福岡大学筑紫病院 清水さや華	毎月 第3 土曜日 ※午前のみ 午後予約のみ					
	脳神経外科 長崎労災病院 北川 直毅	毎月 第3 金曜日 ※午前のみ					

病院までのアクセス



医療法人医理会 柿添病院

〒859-5152

長崎県平戸市鏡川町278番地

TEL 0950-23-2151

FAX 0950-22-5131

<http://www.kakizoehospital.or.jp/>

【面会時間】 平日・土曜日：13:00～20:00

日曜・祝祭日：10:00～20:00

医理会ホール 通所リハビリテーション『毎快』

〒859-5112 長崎県平戸市宮の町596番地1

TEL 0950-23-2151

FAX 0950-22-5131



医療法人医理会 柿添病院附属中野診療所

かきぞえ通所リハビリテーションセンター

〒859-5141 長崎県平戸市山中町696番地3

TEL 0950-20-4100

FAX 0950-20-4101

【診療時間】 平日 9:00～12:00

14:00～17:00

※午後の診療は事前にお問い合わせ確認を
お願い致します。